

ひろげる つなぐ かえる

expand
join
change

12
2011

2011 年 11 月 25 日発行
通巻 156 号

コラム

“まちづくり”は子どもたちと共に

特定非営利活動法人 四日市こどものまち 理事 増田 喜昭

NPO物語 Vol.32

特定非営利活動法人 天満浦百人会

理事長 北村 恵史 副理事長 松井 まつみ

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声聞くことができます。



“まちづくり”は子どもたちと共に

特定非営利活動法人 四日市こどものまち 理事 増田 喜昭

“四日市こどものまち”は1999年に、四日市に子ども博物館をつくろうと、私を含む6人のメンバーでスタートしました。私たちは、欧米にたくさんあるチルドレンズ・ミュージアムのいくつかをたずねてきました。それは、「ハンズ オン」「プリーズ タッチ」と呼ばれる参加体験型のミュージアムで、実際にさわって動かして、楽しんで、学んでいくというすばらしい施設でした。私たちはそれをお手本として、その頃空いていたさまざまな古い建物を探して歩きました。ところが古い建築物は防災管理上、たくさん問題点があったのです。

そこで、ドイツの子どものための町づくり、ミニ・ミュンヘンのような、公園の中でのこどもの町づくり“こども四日市”を企画しました。子どもたちが考えた、働いてかせいで町をつくる。子どもだけのこどもの町です。先日、8回目の“こどものまち”が開かれました。2日間で1,500人の子どもたちの熱気あふれる町が完成しました。

少ない予算の中で、アイデアと手間をかけること、子どもの意志や意見を最優先すること、をモットーに、たくさんのNPOの会員の方々により年に一度のチルドレンズ・ミュージアムが出来上がったのです。

“サンタ会員”と呼ばれる会員（クリスマスに5,000円が口座から引き落とされる）も初年度の120人から少しずつ増えています。それほど、子どもたちの楽しい場を求める声が多いのです。

2009年には、本と畳とこたつのある“こども図書館”もオープンしました。

活発に自主自立した活動をしてるわけではないのですが、ゆっくりと少しずつ歩み続けていくこと、続けることが大切だと思っています。

「子どものことなら三重県」といわれるくらい子どもの楽しい居場所の多い街づくりを目指しているのです。

子どもの遊ぶ姿が、あちこちで見られることこそ、“まちづくり”の原点なのです。

助成金情報

防災 福祉 子ども スポーツ 環境

防災・教育

2012年度 防災教育チャレンジプラン募集

受付期間 12月12日(月) 必着

対象団体 防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設(保育施設・幼稚園・学校等)、教育委員会、NPO、地域団体(民間事業所、各種団体、行政機関)、個人等

対象活動 防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ、共通の資産をつくることを目的とする新しいチャレンジプランの準備・実践活動。プラン実現に向けてアドバイザーが助言や現地指導等の支援を行う。

※詳細はHP参照

助成金の額 一般枠…上限30万円、入門枠…上限5万円(プランの実践に関わる経費の提供)

応募方法 HPより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、E-mailもしくはFaxで送付。

問い合わせ先 防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
Fax 03-3556-8217

E-mail cpinfo2865@bosai-study.net

HP <http://www.bosai-study.net/boshu/index.html>

得などをテーマとして開催される集合研修事業(研修会、セミナー、講演会など)

②福祉施設職員などが幅広い視野と専門性を持って支援業務に携わるために、他の福祉施設、団体などで一定期間実習する派遣研修事業

B. 研究事業

③各福祉分野の先駆性ある事業の実践を通して行われる成果、課題のまとめなどの実践研究事業

④社会福祉関係者の専門性の向上、現任訓練の方法や体系、また就労、福利厚生などをテーマとする調査研究事業

※助成対象経費項目など詳細はHP参照

助成金の額 総額2000万円以内、1団体につき助成対象経費合計の80%かつ50万円以内。

応募方法 HPより助成事業申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の必要書類を添付して郵送。

問い合わせ先 財団法人 日本社会福祉弘済会 助成事業係
〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-24-3
Tel 03-3846-2172

HP <http://www.nisshasai.jp/fukusijyoseijigyo/index.html>

福祉

財団法人 日本社会福祉弘済会 福祉助成事業募集

受付期間 12月15日(木) 必着

対象団体 ①社会福祉事業や福祉施設の運営、福祉活動などを目的とする社会福祉法人、福祉施設、福祉団体など
②法人格のない任意団体、グループは市区町村社会福祉協議会の推薦を得て申請

対象活動 社会福祉関係者の資質向上に関する研修や研究

A. 研修事業

①福祉サービスのあり方や専門的知識、技能の習

子ども

タイガーマスク基金

児童養護施設で暮らす子ども&巣立つ子どもを支援しよう!

受付期間 12月31日(土) 必着

対象団体 児童養護施設で生活する児童を支援している団体、および児童養護施設を退所した児童の自立を支援している団体(法人格を有すること)

給付金額 1団体につき50万円を上限とする。

応募方法 HPより受給申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の必要書類を添付して郵送。

「資源ごみ」から広がる win-win な関係

株式会社鈴鹿ハンター 代表取締役社長 森田幹男さんにお話を伺いました。

ショッピングセンター「鈴鹿ハンター」（鈴鹿市算所）では、鈴鹿市役所から資源ごみの回収拠点を増やしたいと呼びかけられたのを契機に、平成 13 年 4 月から社員だけで「資源ごみ」の回収を始めた。「NPO 法人みどりの家※」（四日市市）の前身の方たちとの出会いがあり、「障がい者も手伝わしていただけますか？」とお尋ねをきっかけに、最初は障がい者とハンターの社員とが一緒になって集め、徐々に作業を渡していった。現在では障がい者たちでできるようになったため、バックアップに徹している。

さらに資源ごみの処理施設への持ち込みが企業の場合有料であったのが、障がい者や民間団体が持ち込むと市は補助金を出すことが分かった。資源ごみの量が集まってくると、業者も応援してくれるなど体制が整っていった。障がい者たちがやっているということで、みんなが応援してくれるようになり、市民もまた、もっと自分たちも協力していこうとい

う流れになる。

「鈴鹿ハンター」弁天広場西側にて「資源ごみ」の回収を週 3 回、定期的に行ってもらっており、平均週に 3,000 人を超える利用者がある。障



がい者の就労支援になればという思いからバックアップしてきたが、さまざまな波及効果を生み、プラスに回転している。

「資源ごみ」の再生化によって地域の環境に貢献するだけでなく、NPO や顧客、地域とも win-win の関係が築けているよい事例である。

※ NPO 法人みどりの家：心身に障がいを持つ市民への就労支援・生活支援を行っている。

※詳細は HP 参照

問い合わせ先

(特活) ファザーリング・ジャパン
タイガーマスク基金事務局
〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-1-18-301
Tel 03-6902-1694 Fax 03-6902-1695



info@fathering.jp

HP

http://www.tigermask-fund.jp/howto.html



スポーツ

財団法人ヨネックススポーツ振興財団 平成 24 年度助成金募集

受付期間

12 月 31 日（土） 当日消印有効

対象団体

青少年スポーツの振興に関する活動を 3 年以上継続して実施している団体。

①スポーツ振興を主たる目的とする一般・公益社団法人または一般・公益財団法人

②上記以外の団体で、以下の要件を備える団体

- ・定款、寄付行為に類する規約等を有すること
- ・団体の意思を決定し執行する組織が確立していること
- ・自ら処理し監査する等会計組織を有すること
- ・団体活動の本拠としての事務所を有すること

対象事業費

スポーツ用具費、通信運搬費、講師等の謝礼、印刷製本費、その他事業に必要な経費

助成金の額

年度内に予定する一つの事業予算の 50% で概ね 100 万円以内。

応募方法

HP より助成金交付申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、対象団体であることを証明する書類を添付して郵送。

問い合わせ先

財団法人ヨネックススポーツ振興財団 事務局
〒113-8543 東京都文京区湯島 3-23-13
ヨネックス株式会社内
Tel 03-3839-7195 Fax 03-3839-7196



zaidan@yonex.co.jp

HP

http://www.yonex.co.jp/zaidan/joseikin.html



環境

日立環境財団 環境 NPO 助成

受付期間

2012 年 1 月 20 日（金） 当日消印有効

対象団体

国内の環境 NPO / NGO 法人、又は 3 年以上の実践活動歴を有する任意団体。

※活動暦が 3 年未満の任意団体でも、優れた提案であれば助成対象とする。

対象活動

「環境と経済との調和」に資する活動

・地球温暖化問題、循環型経済社会実現への取り組みなど

「環境と科学技術との調和」に資する活動

・自然エネルギーの活用、環境に有効な科学技術の検討

※詳細は HP 参照

助成金の額

1 件につき 150 万円を上限とする。

応募方法

HP より申請書および推薦書をダウンロードし必要事項を記入の上、活動実績と役員名簿を添付して郵送。
※推薦書には推薦者（貴団体には属さない第三者）の署名・捺印が必要。

問い合わせ先

公益財団法人 日立環境財団
〒101-8010 東京都千代田区外神田 4-14-1
秋葉原UDX 21 階
Tel 03-3257-0851 Fax 03-3257-0854
kankyo@hdq.hitachi.co.jp
http://www.hitachi-zaidan.org/kankyo/works/work03.html



E-mail



ホームページ

NPO から寄せられた募集とご案内

企業の CSR 展示紹介

企業の社会貢献展 ～株式会社ぎゅーとら～

12 月は「株式会社ぎゅーとら」の活動を展示します。幼稚園児との交流、親子体験イベント、高齢者施設訪問、市民活動団体とのつながりなど、食育、次世代育成、まちづくり、環境活動と幅広い分野で地域に密着した社会貢献活動を紹介します。

日時 12月1日(木)～12月28日(水)

場所 みえ県民交流センター交流スペース アスト津 3 階 (津駅東口隣接ビル)

主催 みえ市民活動ボランティアセンター

問い合わせ先 Tel 059-222-5995

Fax 059-222-5971

(富田・谷・安村・吉島)

企業とNPOがつながるヒントが満載

雑誌「オルタナ」をプレゼントします！

企業とNPOが協働するヒントは「CSR」にあります。季刊『オルタナ』は、日本で唯一のCSR関連のビジネス情報誌です。このたびMブリッジは『オルタナ』の提携特約店となりました。今後、三重県のNPOと企業へ向けて、CSRをより広く推進していくために、抽選で15名様にバックナンバーをプレゼントするキャンペーンを実施いたします。

対象 ・企業との協働をすすめたいNPOの方

・企業のCSR(環境・地域貢献)担当者または広報担当者

・CSRに関心がある方などを中心にどなたでも

応募方法 『『オルタナ』バックナンバー希望』と明記のうえ、「氏名、所属、送り先住所、Tel・Fax 番号」を記入し、E-mail または Fax にて提出。

※当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

応募締切 12月9日(金) 18:00 まで

問い合わせ先 (特活) Mブリッジ

Tel 0598-23-8400 (中川)

Fax 0598-23-8488

E-mail csr@tsutaetai.jp

HP http://m-csr.jimdo.com/

平成 24 年度NPO等からの協働事業提案

事前意見交換参加団体募集

NPO等から、県やさまざまな主体と協働して取り組む事業提案を募集するにあたり、事前に関連する業務を行っている県関係室と意見交換を行う参加団

体を以下の内容で募集します。

①自由提案

②県から募集するテーマに対する提案
※県から募集するテーマの内容・応募方法などの詳細は、男女共同参画・NPO 室 NPO グループのホームページを参照、もしくはお問い合わせください。

対象 県内に活動拠点(事務所など)があり、民間・非営利活動を1年以上行っている団体

応募締切 12月9日(金) まで

問い合わせ先 三重県生活・文化部男女共同参画・NPO 室 NPO グループ
Tel 059-222-5981
Fax 059-222-5984

E-mail seiknpo@pref.mie.jp

HP http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/

国際交流フェスティバル 2011

～ちがいを知り楽しもう！地域から世界へ～

展示、民族音楽、ダンス、チャリティーオークション、国際のど自慢、料理など楽しい内容が盛りだくさんの身近な国際交流イベントです。

【イベント内容】

◎東日本大震災チャリティーオークション

① 11:00 ～ ② 15:30 ～

珍しい海外の品、家に眠っていたお宝が出品されるかも!? 収益は、東日本大震災被災地支援として全額寄付します。

◎国際交流員とのふれあいタイム

① 11:30 ～ ② 14:00 ～

様々な国の出身の国際交流員の活動を知って、クイズなどでふれあいましょう! 子どもも大人も楽しめます。

◎ミュンヘンと三重を結んで生トーク

13:15 ～ 14:00

ドイツ・ミュンヘン在住の「ESDin 三重」のメンバーと、生トーク!

◎国際のど自慢大会(決勝)

14:30 ～ 15:30

鈴鹿国際大学での予選とフェスティバル当日の予選を通過した出場者が、母国語以外で「自慢ののど」を披露します。

◎日本の現代文化の紹介と若者たち

10:00 ～ 16:00

海外で受け入れられる日本のアニメーション、コミックなどの「クールジャパン」についての展示など。コスプレショーもあります。

◎NPO・NGOによる展示・販売コーナー
各国の手工芸品の販売、パネルや写真展示による県内のNPO・NGO・ボランティア団体の活動紹介。

日時 12月11日(日) 10:00 ～ 16:30

場所 アスト津 3 階 みえ県民交流センター

対象 どなたでも

参加費 無料 ※申込不要

主催 みえNPOセンター・ワーカーズコープ
(みえ県民交流センター指定管理者)・国際交流フェスティバル企画委員会

問い合わせ先 Tel 059-222-5995

Fax 059-222-5971

(安村・田中・富田)

E-mail center@mienpo.net

HP http://www.mienpo.net/center/

国際理解セミナー

国際交流・国際協力

～私たちにできること～

ご存知ですか? 今、三重県には約 4 万 7 千人の外国の方々が暮らしています。また、三重県出身の青年海外協力隊、シニア海外ボランティアなどの JICA ボランティア 50 名が世界各地で活躍しています。皆さんも国際交流・国際協力の実践者として「私たちにできること」を一緒に考えてみましょう。

【セミナー内容】

●活動発表「国際協力の現場」

・三重大学ベトナムスタディー ツアー

2011 参加学生

・青年海外協力隊 OB

西山真友子さん(セントビンセント派遣)

・日系社会青年ボランティア OB

藤川純子さん(ブラジル派遣)

●ワークショップ

「国際交流・国際協力

～私たちにできること～」

日時 12月11日(日) 10:30 ～ 12:30

場所 アスト津 3 階 イベント情報コーナー

定員 40 名(事前申し込み優先)

参加費 無料 Tel、Fax、E-mail にて申し込み

主催 三重県、三重大学、JICA 中部

問い合わせ先 Tel 059-222-5974

Fax 059-222-5984

E-mail kokusai@pref.mie.jp

※このセミナーは、「国際交流フェスティバル 2011」の一環として開催されます。

鈴鹿市発信の新野菜!

「セイロン瓜」料理を楽しみませんか!

鈴鹿市では、Suzuka 産学官交流会の活動として、セイロン瓜の種をスリランカから輸入し、全国に向けて「新野菜」として発信するプロジェクトが発足いたしました。今回、そのセイロン瓜を使った料理の作り方に関する講習会を行います。

日 時 12月11日(日) 9:30～11:30
場 所 アスト津 5階 食工房
定 員 25名(先着順)
参加費 1000円
 ※FaxまたはE-mailにて申し込み
応募締切 12月7日(水)
問い合わせ先 鈴鹿国際大学
 Tel 059-372-2121
 Fax 059-372-2827
E-mail ceylonuri@yahoo.co.jp
 ※このイベントは「国際交流フェスティバル 2011」の一環として行われます。

ドイツのお菓子作り体験

クリスマス・お菓子作り教室

三重大大学ドイツ人留学生を講師に迎えて、ドイツのクリスマスケーキ(シュトレン)と数種類のクリスマス・クッキーを焼き、お持ち帰りいただきます。

日 時 12月17日(土) 13:30～16:00
場 所 三重県総合文化センター
 フレンテみえ「生活工房」
対 象 どなたでも
応募締切 12月11日(日)
参加費 材料費実費 ※要申し込み
主 催 三重日独協会
問い合わせ先 Tel 059-232-0594(向井)
E-mail am.deutsch1685@gmail.com
HP http://www.ztv.ne.jp/apple/

第3回 日本笑い学会みえユーモア支部 笑例会「年末のひと時を 笑いで過ごしましょう！」

- 【開会の挨拶～笑いの効用について～】
橋元慶男
日本笑い学会みえユーモア支部 支部長
 - 【マジックショー】
山本達雄
老人会、介護施設で「マジックかもしか」として活動中
 - 【笑いプラス思考】
中村富美
日本笑い学会みえユーモア支部 事務局長
 - 【笑いの展覧会】
大井秀樹
日本笑い学会 笑いの講師団所属
鍼・接骨院 大幸堂 院長
からだは笑いたがっている
実践して実感する “笑笑笑”
 - 【笑いヨガ】
みえユーモア支部・笑いヨガチーム
橋元・福本・中村の3人トリオで、
smile always アロハハハ～♪
- 日 時** 12月17日(土) 14:00～16:30
場 所 四日市 じばさんみえ 4階 視聴覚室

対 象 どなたでも
参加費 800円(会員無料) ※申込不要
主 催 日本笑い学会 みえユーモア支部
問い合わせ先 Tel&Fax 059-232-6409(中村)
E-mail waraigakkaimie@gmail.com

活動・事業発表と意見交換

第5回「川のワークショップみえ」発表者募集

「川のワークショップみえ」は、「山～川～海」をテーマに取り組んでいる市民(団体)や行政が、活動や事業を公開で発表・意見交換し、ともに高め合おうとする試みの場です。現在、発表者を募集しています。

日 時 2012年2月19日(日) 12:30～17:30
場 所 三重県庁講堂(津市広明町13番地)
対 象 市民(団体)、学校、行政など
参加費 無料
応募締切 12月25日(日)
主 催 第5回川のワークショップみえ実行委員会
問い合わせ先 かわづくり会議みえ
 Tel 090-5637-0727(久世)
 Fax 0598-42-8078
E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp
HP http://kawamie.iinaa.net/

市民活動団体寄付先募集

コーヒー飲ん de 団体支援

みえ市民活動ボランティアセンターでは、市民活動団体への支援をめざして各種事業を展開しており、その一環として、市民活動団体への活動資金の一部に寄付を行っております。「コーヒーファンド」で寄付金を募り、また、企業の協賛を得て総額16万円を市民活動団体に贈呈いたします。

【募集内容】

- 団体の活動を紹介したポスター(A3判)を提出。当センター内に掲示し、投票及びミニプレゼンテーションを経て選考(先着18団体まで)
- 複数団体と連携し活動推進している団体で、その内容を書面で提出。書類審査により選考

※詳細は HP 参照

受付期間 2011年12月1日(木)～2012年2月10日(金) 必着
対 象 ・三重県内で活動する団体で、当センターのHP(Mナビ)の登録団体。(A)は当センター登録団体。
 ・1年以上の活動実績がある団体。
 (A)は1年未満でも可。
 ※過去に当センターの「コーヒーファンド」から寄付を受けた団体は対象外
寄付金額 (A)2団体に各3万円
 (B)2団体に各5万円
応募方法 HPから応募用紙をダウンロードし必要事項を記入の上、直接または郵送、E-mail、Faxにて提出。
問い合わせ先 みえ市民活動ボランティアセンター
 津市羽所町700(アスト津3階)
 Tel 059-222-5995(谷・田中)
 Fax 059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
HP http://www.mienpo.net/center/

E-mail **HP** ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました！
 掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。
 (1)フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお願いします。
 (2)E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ

原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。
<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資！

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
 URL: http://www.miebank.co.jp

“地域とともに みなさまとともに”



三重銀行

理念と歩みから学ぶ

NPO物語 Vol.32

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を紹介していきます。

皆さまに支えられて 30 年

特定非営利活動法人 天満浦百人会

理事長 北村 恵史 (写真左) 副理事長 松井 まつみ (写真右)

スタートは地区のPTA活動から

特定非営利活動法人天満浦百人会（以下、「百人会」と略）の設立の経緯とこれまでの歩みについてお聞かせください。

百人会は今から30年前、宮の上小学校 PTA 天満地区子供会の父母が子どもを通して地区 PTA 活動から芽生えた組織なんです。青少年育成天満町民会議を結成し、青少年が育つ良い環境づくりに取り組みました。昭和 59 (1984) 年 9 月のことです。

地区には自治会や老人会、生活改善グループに福祉グループ、総代会等があり相互に協力しながら活動をしていましたが、子どもたちの成長とともに尾鷲市においても過疎・高齢化が進みました。天満地区においても同様で、しだいに賑わいが失われつつありました。これでは賑わいが無くなってしまう「なっとかしなければ」の声を度々聞くようになり、仲間と話し合いの結果、【天満をにぎやかな町にしよう！】を目標に活動を開始しました。

そんな中で平成 11 (1999) 年東紀州体験フェスタという県のイベントがあり、^{いのなみさき}海沿いの明治の道、「猪鼻岬まわり水平道」が注目されたのです。この道を通して尾鷲を訪れる人々を「もてなし」集客交流をはかろうと、15 名のメンバーで「任意団体天満浦百人会」を結成しました。このもてなし拠点として天満集会所が大きな役割を果たしましたが、厨房が非常にせまく、日頃から「集会所の厨房を大きくするにはどのようにすればよいか」はお母さんたちの一大関心事でもありました。

特産品の開発・販売で厨房を広げ、NPO 法人化に至る

そこで特産品を開発し販売した利益で厨房を広げようと特産品を作りました。この地方で昔からあった「竹ようかん」前浜の「天草（海藻）」復活、特産の甘夏みかんジュース・ピール・マーマレードや陶器の地蔵を作り、市内のイベントや世界遺産となった熊野古道馬越峠の屋台店、毎月開催の尾鷲イタダキ市などで販売し、資金をコツコツと貯めました。

これと並行して中部電力が所有する古民家（天満荘）をお借りして秋の名月を楽しむ「月と語る夕べ」、正月の「初日の出を見る会」三月のお雛さん祭り、夏は盆踊り等、四季を通じた活動を開催しました。年間 1,000 名以上の集客イベントを行っています。

そんな時、市内向井町に県立熊野古道センターがオープンし、その隣に築 150 年の古民家を移築して地場特産品交流センター（通称 夢古道）を尾鷲市が建設し、そこでお母さんのランチバイキングを行う話がもちあがりました。一度はお断りしたものの、関係各位からの熱心なお誘いと尾鷲の味と手料理を提供する方針に出店を決意、このことを機に任意団体からより責任の持てる「NPO 法人天満浦百人会」を設立、新しいスタートを切りました。

この時 7 年間でコツコツ貯めたお金で災害時にも対応できるようにとの願いをこめて 10 坪の厨房「笑福工房」を新築しました。夢古道ランチバイキングは平成 19

(2007)年4月オープン。地産地消を第一に毎日20種類以上、尾鷲の旬の味を提供し、「今しかない!ここしかない!これしかない!」をモットーに尾鷲の母ちゃんで頑張っています。



“尾鷲の母ちゃん”たちの料理は、観光客だけでなく地元の人にも人気が高い。

自発的にできた「天満浦百人会応援団」と「天満荘応援団」

百人会には、応援団があると聞いたのですが…。

NPO 法人天満浦百人会応援団というのは若い人たちが自発的に集まってできた団体です。百人会で長年定期的にイベントをやっている中で、メンバーの一人の息子さんが嫁さんを連れてある日手伝いに来てくれたのが始まりです。さらに、自分たちのまわりにいる県職員や市職員、商工会議所や商店などの友達を呼んでくれました。百人会のイベントのお手伝いにボランティアとしてきてくれるようになったんです。ありがたいことに、毎年応援しにきてくれるということで、天満浦百人会応援団という名前をつけてくれて、今では友達が友達を呼び、20人の団員がいます。

また、天満荘の運営をやっていくのに、応援をしたいと言ってくださる方がありましたので、天満荘応援団というものもつくらせていただきました。それはボランティアではなく、寄付という形で応援していただいています。一般団員は三千元、特別団員は一万円で応援していただいております、入会金のみで年会費はなし。現在100人以上の団員さんがおり、天満浦地区外や県外の方にも入ってもらっております。

災害時の避難場所として

天満荘を所有されたのは、なぜですか？

避難場所に指定されている、天満集会所は高台といっても安心できる場所ではありません。天満の高台の広い場所、安全で安心できる場所は天満荘を置いて他にはありません。30人、40人が避難しても十分な広さがあり、20～30の仮設住宅も建てられる広さがある天満荘を更地にして売却する話がありました。天満荘は築86

年ですが日本建築のすばらしさを備えた建物で尾鷲の大切な財産、天満の宝物でもあります。この大切な財産を守り続けて行く事が天満浦の災害時に防災面からも大切な事だと思い、みんなで守ろう!と購入しました。

東日本大震災を機に防災の考えが皆に意識づけられました。「笑福工房」の建築も「天満荘」の購入も、会員の努力と住民の協力によってなされた仕事です。



「天満荘」では、普段はカフェや体験活動、文化講座を行っている。

【天満浦を笑顔で明るい“まち”に】を旗印に

百人会のこれからについて

災害時の避難場所を守る、みんなで【天満浦を笑顔で明るい“まち”に】を旗印に目標を持って、頑張っていきます。そうすれば尾鷲市も明るい市になるのではと思っています。そのひとつとして毎年3月に「天満お雛さま祭り」を開催していました。お雛さま祭りが「まちかどHOTセンター」の協力・指導により尾鷲市の他団体、民家等にも協力いただき、点が線になり、今では「尾鷲お雛さま祭り」となりました。

この経緯から各地区が核となり切磋琢磨の活動をすれば、必ずや明るい笑顔のある“まち”になると思います。少子化や高齢化やマイナスイメージでなく、60歳が青年団、70歳が若年団、80歳が熟年、90歳が高齢者、このような気持ちで百人会が他のサークルや団体と手をつなぎ、明るく元気な“まち”にしていきたいです。

※天満浦百人会という名前は百人という人数ではありません。多くの皆さんの協力によってまちづくりをしたいという願いをこめてつけました。

【データ】

〒519-3602	三重県尾鷲市天満浦 1-6 番地
T E L	0597-22-0768
	天満荘TEL&FAX 0597-22-7880
ホームページ	http://www.tenmaura.info
代 表 者	理事長 北村恵史
団体設立年月日	2000年3月12日
NPO法人化年月日	2007年6月13日
会 員 数	会員 26 名
会 費	年会費 3,600 円

とびくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時取り上げます。

注目される「改正 NPO 法」の条例案

NPO法人制度にとり大きな意味を持つ「寄付税制の改正」と「改正NPO法」という2つの法律が平成 23 年 6 月に成立しました。今回、国の法律制定を受けて、都道府県や政令指定都市で独自に条例をつくらなければならない「改正NPO法」を取り上げます。

三重県でも「改正NPO法」の成立を受け、平成 23 年 7 月から9月にかけて「三重県NPO法人条例指定制度検討委員会」が開催され、三重県における寄付金控除の対象となるNPO法人の指定基準が検討されました。公平でより効果的な制度とするため、県市町が同一のNPO法人を指定できるようにと進められてきましたが、制度設計や市町との調整に時間を要するとして、県は目標としていた平成 23 年度中の制度導入を断念しています。

三重県のNPOにとって、どのような条例案になるのか注目していきたいと思います。

【参照 <http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/#10072>】

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか？～

中間支援、NPO 支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

日 時 2012 年 1 月 19 日(木) 13:30 ～ 16:00(予定)

NPOのための無料よろず相談

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は？職員を雇うときの手続きは？助成金をとりたいけれど…

先着順のため、相談日の1週間前までにお申し込みください。

対 象 NPO 法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

日 時 (1) 10:00 ～ 11:00 (2) 11:00 ～ 12:00
今後の予定：12 月 6 日(火)・1 月 10 日(火)

場 所 みえ県民交流センター
アスト津 3 階(津駅東口隣接ビル)

相談員 NPO 法人 みえ NPO センター
代表理事、事務局長、事務局スタッフから内容に応じて

問い合わせ みえ市民活動ボランティアセンター
TEL 059-222-5995



コーナー

(Monthly Selection)

◆ コミュニティ再生のための地域自治のしくみと実践

中川幾郎編著
発 行：学芸出版社
発行日：2011 年 7 月 1 日

◆ 市民社会政策論

—3・11 後の政府・NPO・ボランティアを考えるために
田中弥生著
発 行：明石書店
発行日：2011 年 8 月 20 日

県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

認証した特定非営利活動法人 2011 年 10 月 10 日～2011 年 11 月 9 日認証分

① 認証団体名 ② 法人事務所の所在地 ③ 活動分野
④ 認証年月日 ⑤ 代表者

①有馬の村
②熊野市有馬町 648 番地 1
③まちづくり、文化、経済活動、
職業能力
④ 2011 年 10 月 21 日
⑤理事長 山本 寛

①こまつの里
②津市香良洲町 6145 番地 3
③保健、人権、その他
④ 2011 年 10 月 21 日
⑤理事長 近藤 勝博

① DIFAR
②津市美杉町八知 1383 番地
③国際、その他
④ 2011 年 10 月 21 日
⑤理事長 瀧本 里子

①みえNPOネットワークセンター
②四日市市営生町 1200 四日
市大学 特定非営利活動法
人市民社会研究所内
③保健、社会教育、まちづくり、文
化、環境、災害、地域安全、人権、
国際、男女、子ども、情報化社会、
科学技術、経済活動、職業能力、
消費者、その他
④ 2011 年 10 月 21 日
⑤代表理事 伊井野 雄二

①パフォーミングアーツネット
ワークみえ
②津市上浜町 3 丁目 51 番地
③社会教育、まちづくり、文化、
国際、子ども、その他
④ 2011 年 11 月 1 日
⑤代表理事 油田 晃

「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細 5 ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークずさかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中京大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリソート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザインセンター (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野))/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター『フレンティみえ』/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

VEGETABLE GIL INK

古紙 70% の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。